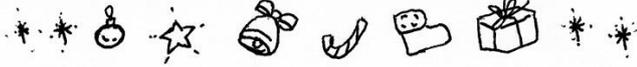


いずみのひろば



かみさまからのプレゼント ローマの信徒への手紙3章21〜26

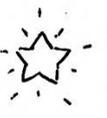
みなさん、「ごほうび」をもらったことはありますか？ごほうびというのは、わたしたちが褒められるようなことをしたときにもらえるものです。運動会で一等賞を取ったとか、習字で金賞をとったとか、剣道の試合で勝ったとか、音楽会で上手に演奏できたとか、スイミングで記録が出たとか、おうちのお手伝いをして偉かったというときに、何かもったり褒められたりします。これがご褒美です。

ところで、ご褒美とよく似たものがあります。それはプレゼントです。クリスマスになるとサンタクロースがプレゼントをくれたりします。教会学校でもクリスマスページェントのあとでプレゼントをもらえます。幼稚園にもサンタさんが来ますよ。プレゼントをもらうとうれしいですね。中身は何かな？わくわくしますね。プレゼントというのは私たちが何もしていないのにもらえるものです。ご褒美のように褒められるようなことや、他の人よりいいところがなくとも、もらえます。しかもタダでもらえるものです。だからもらうととてもうれしいです。それがプレゼントです。

イエスさまのころの人たちは聖書の掟を全部守ったら、ご褒美で天国に行けると思っていました。聖書の掟にはみんながよく知っている十戒がありますが、そのほかにたくさんあるのです。細かい掟も入れると600以上あると言われています。それで一生懸命掟を守っていたのです。みなさん、おうちのひとや先生にいわれたことを全部守れますか？うつくしい

言われたら、その中の1つぐらいはわすれてしまいますね。だから600もあつたら大変です。覚えることもできません。自分で頑張っても天国に行けないのだつたら、どうしたら私たちは天国に行けるのでしょうか？

しかし、聖書は大事なことを教えてくださいます。教会のシンボルマークといえば十字架ですね。聖書が私たちに教えてくれる大事なことで、それは、「こんなわたしたちのためにイエスさまが十字架で身代わりになってくださった」ということです。そしてこのイエスさまを信じることによって私たちは天国に行くことができるのです。神さまに褒められることよりも、神さまを悲しませるようなことの方が多い私たちです。でも神さまはそんな私たちのことを愛してくださって、大切に大切に思ってくださいているのです。神さまを悲しませるようなことをしたけれど、この子は本当はいい子なんだ。お友達に意地悪を言ったけれど、本当は優しい子なんだ。ということをよく知ってくださいます。神さまは私たちが愛してくださって大きな大きなプレゼントをくださいました。それがイエスさま、そしてイエスさまの十字架なのです。神さまはイエスさまを信じるだけで私たちが天国にいけるようにしてくださいました。これは私たちがご褒美ではありません。神さまから私たちへのプレゼントなのです。私たちは喜んで、感謝してそのプレゼントを受け取りましょう。イエスキリストを信じることでわたしたちはプレゼントを受け取ることができるようです。



(おはなし ゆたに かずしげ先生)